

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～平成 29 年度～

全 体 会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約180団体・機関)

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・市の計画について
「第2期廿日市市障がい福祉計画について」(平成21年度)
「第3次障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画について」(平成26年度～)
- ・研修
「やさしいまちづくり 可部での活動を通して」(平成25年度)
「広島市8月20日豪雨災害を経験して」(平成26年度)
「あび隊～知的障がいのある人の疑似体験～」(平成27年度)
「避難行動要支援者避難支援制度について」(平成27年度)
「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ステージ発表(平成24年度～)
- ・事業所・団体紹介(平成27年度～)
- ・事業所製品の販売・展示(平成27年度～)

【平成29年度 取組計画】

- ①平成28年度相談支援実績報告
- ②はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進
第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組
- ④ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示

【平成29年度 取組報告】

年2回(7月7日、2月23日)開催しました。

7月の全体会では、講師にNPO法人ふくし文化塾はつかいち副理事長 蛭江紀雄さんをお迎えし、「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」というテーマで、ご講演いただきました。福祉の歴史や地域とのつながりづくりの大切さについて学ぶことができました。事業所製品の販売・展示は、前年に続き、好評でした。

2月の全体会では、講師に日本基準寝具株式会社ローラー仕上課 楠本あゆみさんをお招きし、「一般企業における障がい者雇用について」ご講演いただきました。

ステージ発表では、『RE-START』徳政宏一さん(7月)に素敵なサクソ演奏を聴かせていただきました。友和の里コセキさん(2月)には、友和の里施設長の川本さんのギター伴奏で懐かしの昭和演歌を披露くださいました。

はつかいち福祉ねっと専門部会(障がい別会議・課題別会議)で年間を通して行われているさまざまな取組や第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画の進捗状況、第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組、6月市議会条例案上程予定の「(仮称)廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」、廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会、廿日市市障がい者虐待防止ネットワークなどについてもみんなで共有することができました。



研修



ステージ発表

部会代表者会議

【目的など】

専門部会（障がい別会議・課題別会議）の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④子ども部会⑤わかりやすい情報部会（わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト）⑥就労支援部会（福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング）⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会（長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト）⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会（権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング）

【平成 29 年度 取組計画】

- ①年間 4 回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【平成 29 年度 取組報告】

年 4 回（5 月 18 日、6 月 15 日、11 月 17 日、2 月 8 日）開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会など福祉ねっとの運営全般に関わること等について協議しました。



会議の様子

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を PDCA サイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④子ども部会⑤わかりやすい情報部会（わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト）⑥就労支援部会（福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング）⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会（長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト）⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会（権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング）

【平成 29 年度 取組計画】

- ①年間 3 回の会議開催
- ②「第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画」を PDCA サイクルで推進するための協議（地域課題の抽出・はつかいち福祉ねっとでの取組整理）
- ③第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【平成 29 年度 取組報告】

年 3 回の会議を開催し、各部会での取組を共有し、「第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画」の進捗状況と「第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画」の素案について市から報告を受け意見交換を行いました。



身体障がい部会

【目的など】

当事者・家族・支援者が定期的集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。
また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取り組みも行っていきます。

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成 22 年度～)
- ・まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR 宮内串戸～阿品駅周辺点検(平成 23 年度～)
宮島口駅周辺点検(平成 24 年度)
宮島点検※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力(平成 25、26 年度)
広電廿日市駅及び JR 廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR 大野浦駅周辺地区整備に向け、廿日市市担当課と意見交換(平成 24 年度～随時)
JR 廿日市駅点検(平成 23 年度～)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成 26 年度)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画推進(平成 27 年度～)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成 27 年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成 27 年度～)

【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨広島頸髄損傷 LifeNet⑩広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部

【平成 29 年度 取組計画】

- ①まち点検：JR 大野浦駅周辺
- ②おりづる出前教室：7 月 21 日(木)レクスポ(広島ひかり園)
- ③防災(啓発活動・避難訓練)
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動
- ⑤第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画推進
第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【平成 29 年度 取組報告】

まち点検は、改修の進んでいる JR 大野浦駅周辺に出かける予定にしていたましたが、まだ完成していないこともあり、点検時期の調整中です。また、宮島口の再開発に関連し、広島県の担当課の方から説明を受け、意見交換を行う機会をもつことになっています。

おりづる出前教室は、広島ひかり園で開催しました。広島ひかり園の入所者と在宅で生活する障がいのある方が一緒に、ボール送り、ペットボトルボウリング、ディスクゲッター、野菜の名前を使ったビンゴゲームなどのレクリエーションスポーツを楽しみました。

防災関連では、あいプラザの消防訓練に他の障がい別会議のみなさんと一緒に参加し、水消火器・消火栓を使用しての消火活動を体験しました。

ゆめタウン廿日市で開催した“障害者週間”イベントは、企画段階から参加をしました。イベント当日には、手話教室、ロービジョン体験コーナーを設置し、啓発活動を行ないました。

第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画推進、第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組として、現状の課題や進捗状況の確認、意見交換を行ないました。



おりづる出前教室



“障害者週間”啓発イベント

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【構成団体】

①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)
④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦おのおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーアール⑨虹の会⑩くさのみ作業所⑪ピクトハウス⑫友和の里⑬アダージョ⑭障害者支援施設原⑮大野ふれあい生活介護事業所

【これまでの主な取組】

- ・アンケート(生活の場、ショートステイ等に関するニーズの把握)実施(平成 20 年度)
- ・リーフレット「なってください!サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成 20 年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成 22 年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」「レクスポ」など(平成 23 年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成 24 年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成 25 年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成 27 年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成 27 年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成 27 年度)
- ・就労に関する学習(平成 28 年度)

【平成 29 年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」開催(3月10日(土)障害者支援施設原体育館)
- ②事業所見学
- ③あいプラザ消防訓練参加
- ④学習「障がい福祉サービス」「特殊詐欺等」
- ⑤情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)
- ⑥第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進
第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【平成 29 年度 取組報告】

今年度は、「おりづる出前教室」「事業所見学(Hanaと花舎)」「あいプラザ消防訓練参加」「特殊詐欺等の学習」「情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)」「第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進、第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組」に取り組みました。

2月14日(水)の特殊詐欺等の学習では、廿日市市警察署生活安全課の上村さんからさまざまな詐欺等の実態、予防・対応策等について具体的なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。

3月10日(土)のおりづる出前教室(ゆるゆるビクス)は、はじめて障害者支援施設原の体育館をお借りして開催し、チームでのゲーム等事業所の枠を超えた交流の機会にもなりました。

各情報や課題の共有、学習等を行い、活発に意見を出し合いながら、取り組みをすすめました。



毎月1回の定例会



おりづる出前教室(ゆるゆるビクス)

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修（主催：廿日市市、共催：はつかいち福祉ねっと）
 - 「こころの病を持つ人への対応を知ろう」（平成 26 年度）
 - 「高次脳機能障害のリハビリテーション」（平成 27 年度）
 - 「こころの病気」（平成 27 年度）
 - 「障がいがあっても元気でいられる」（平成 28 年度）
 - 「高次脳機能障害ってどんなこと？」（平成 28 年度）
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」（平成 28 年度）
- ・おりづる出前教室（平成 23 年度～）
- ・当事者主体の地域交流事業
 - みやじま丸 de クルージング（平成 25 年度）
 - 備北丘陵公園（平成 26 年度）
 - 安佐動物公園（平成 27 年度）
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行（平成 28 年度）
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み（平成 26 年度）

【構成団体】

①精神障害者家族会さくら会②精神障害者家族会こぶし会③大野精神障害者家族会あいあい④高次脳機能障害サポートネットひろしま「シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑤さくら作業所⑥あいあい作業所⑦友和病院⑧訪問看護ステーションゆうわ⑨訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑩エスペランサ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭さくら相談支援事業所⑮相談支援事業所エスペランサ⑯広島県西部保健所⑰市社会福祉協議会

【平成 29 年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がい理解と啓発
- ③おりづる出前教室
- ④交流企画
- ⑤第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画推進
第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【平成 29 年度 取組報告】

今年度は、おりづる出前教室を廿日市地域で開催し、レクリエーションスポーツ（ボッチャやビーンボーリングなど）の体験とゆったり体操を行いました。講演会は、障害福祉課と内容などを一緒に検討し、「発達障がい」、「高次脳機能障がい」、「アルコール依存症」の 3 回を企画しました。どの会も多く参加があり、有意義な学びとなりました。

交流企画は、事業所の利用者とも何度も話し合いをしながら進めてきました。今年度は交流をメインにしたいという意見もあり、佐伯地域の市民センターを借りて「ぎょうざを作って食べる食事会」を企画しました。約 80 名の参加でとても盛り上がりました。

第 3 次廿日市市障がい者計画、第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画の推進については、部会の中で改めて計画を読み直し、現状の課題や部会として取り組めることについて意見交換を行いました。



交流企画



講演会
「発達障がい児・者への
援助と医療」



おりづる出前教室

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取り組みを行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取り組み、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤さいき障がい児と親の会「みかん」⑥よしわ障がい児と親の会「つぼみ」⑦広島自閉症協会⑧スイミー⑨ちょうちょ⑩きょうだい支援の会SIBLINGS⑪ぷれじゅーる⑫廿日市市難病患者こども会

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・「発達障がい児のための進路ステップ学習会」(平成23、24年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23年度～)
- ・夏休み工作教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28年度～)

【平成29年度 取組計画】

- ①夏休み工作教室(友和の里と共催)
- ②スポーツ吹矢づくり&体験
- ③地域とのつながりづくりアンケート
- ④“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～改訂、配布
- ⑤ブログ・LINEを活用した情報発信(団体に所属されていない保護者とのつながりづくり)
- ⑥ニーズ把握アンケート(仮)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進
第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【平成29年度 取組報告】

昨年度に引き続き、夏休み工作教室(友和の里と共催)、スポーツ吹矢づくり&体験、地域とのつながりづくりアンケート、ブログ・LINEを活用した情報発信を行いました。夏休み工作教室では、“まな板でDIY”と“リメイク缶づくり”をしました。くぎ打ち等、難しい工程もありましたが、最後までがんばって作品を完成させることができました。2年目となるスポーツ吹矢づくり&体験では、午前中にオリジナルの吹矢づくりとスポーツ吹矢体験、午後には個人戦、チーム戦を行い、子どもたちの一喜一憂する姿がみられました。

また、「現在の保護者の困りごとやニーズ等を把握する必要があるのでは」という声上がり、“こども部会アンケート”を実施しました。こども部会の他、放課後等デイサービス、小・中学校の特別支援学級、廿日市特別支援学校の保護者を対象に約900部配布し、360部の回答が集まりました。アンケート結果は、今年度実施の第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定と毎年実施している第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画のPDCAサイクルによる見直しの参考にしました。今後、余暇活動充実のための取組や保護者向け学習会等の参考にもしたいと思います。



夏休み工作教室



“障害福祉サービス”等のべんり帖
～こどもバージョン～

わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

市が制定する手話言語及びコミュニケーションに関する条例について、より多くの人からの意見を反映するためにプロジェクトを設置し協議していくことを目的としています。

【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷 LifeNet⑤広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会⑥障害者施設・原家族会⑦くさのみ福祉会⑧高次脳機能障害サポートネットひろしま「シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑨にじのえき⑩スイミー⑪ぶれじゅーる⑫廿日市市手話通訳者連絡協議会⑬廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑭社会福祉協議会⑮学校教育課⑯障害福祉課⑰きらりあ

【平成 29 年度 取組報告】

本プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて 11 月に新設しました。

プロジェクトは、障がい別会議の中から手を挙げた団体、手話通訳者連絡協議会、要約筆記サークル、市社会福祉協議会、市学校教育課等、幅広いメンバー構成となっています。

会議は、これまでに 3 回開催し、第 1 回(11 月 27 日)は条例についての趣旨説明、第 2 回(12 月 15 日)は条例案の検討、第 3 回(1 月 26 日)は事業内容の検討について話し合いを行いました。

会議では、それぞれの立場やおかれている状況等について情報交換をしたり、課題解決に向けた意見交換等を行ったりしました。それぞれが抱えている課題に共通点があるものもあれば、相反するものもあつたりで、何もかもがクリアされた状態にまでは至っていませんが、こうした機会を重ねることで、プロジェクトメンバー間の相互理解につながりました。

今後は、実際の取組について検討していくこととなります。



第 2 回の会議の様子

就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品の PR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらった。(平成 26 年度～)
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中(平成 26 年度～)
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示(平成 26 年度～)
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業(平成 22 年度～)
 - ②アンケートのデータ入力作業(平成 27 年度～)
 - ③その他の内職作業 etc
- ・販路などの拡充に向けての取り組み
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(平成 23 年度)
 - ②info. 表参道での常設販売(平成 23 年度～)
 - ③市役所ロビー常設販売開始(平成 24 年度～)

【構成団体】

- ①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップあんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭工房ハクナマタタ⑮多機能事業所ぱすてる⑯Hana と花舎⑰リバティアーはつかいち⑱あおぞら

【平成 29 年度 取組計画】

- ①各事業所の取り組み情報の共有(継続)
- ②“障害者週間”に向けての取り組み(継続)
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認(継続)

【平成 29 年度 取組報告】

隔月開催のワーキングで各事業所の仕事内容や取組み等について情報共有を行い、協働の取組み(商工はつかいちの封入作業、市役所からのアンケートのデータ入力、市役所ロビーショーケース展示、市役所ロビー・大野文化ゾーン販売、info 表参道委託販売、全体会販売、“障害者週間”啓発イベントなど)を継続して行いました。

“障害者週間”啓発イベントでは、事業所製品の販売と各事業所の紹介をパネル展示しました。

市役所 1 階に 2 月にオープンしたデイリーヤマザキでは、ご厚意により、市内事業所製品の委託販売をはじめることができました。市役所ロビー販売と合わせてよろしくお願いします。



市役所ロビー
ショーケース



会議の様子



info 表参道

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校（廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む）の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・特別支援学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握（平成 21 年度）
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加（夏休み期間中 1 回）スタート（平成 23 年度～）
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援 B 型の利用取扱い等について調整（平成 25 年度）

【構成団体】

①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

（夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、ハートフルあまの、工房ハクナマタタ、友和の里、アダージョ、ぱすてる、ぱすてる大野原、障害者支援施設原、大野ふれあい生活介護事業所、Hana と花舎、さくら作業所、コーヒーショップあんず、ハナミズキ、にじのえき、広島ひかり園やすらぎ・まごころ、リパティーフつかいち、あおぞら）

【平成 29 年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有（年 4 回）

※夏休み期間中ワーキング（2 部構成）

前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【平成 29 年度 取組報告】

今年度も、年 4 回のワーキングを開催しました。夏休みのワーキングでは、前半に廿日市市在住の生徒が在籍している市外特別支援学校にも参加していただき、各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有を行い、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関で進路調整を行いました。



夏休みワーキング



通常のワーキング

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
 - 関係者会議、モニター実施(平成21年度)
 - 「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
 - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
 - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん
- ②市教育委員会
- ③市子育て応援室
- ④市こども課
- ⑤市障害福祉課
- ⑥きらりあ

【平成29年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイルの普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会開催

【平成29年度 取組報告】

今年度は、部会を3回開催し、情報交換や第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画に関する協議等を行いました。

また、昨年度スタートさせた障がい児支援関係事業所連絡会(対象:児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所)は、今年度から年3回の定期開催としました。毎回、行政報告や研修(「将来を見据えた放課後・長期休暇の支援について」講師:特別支援教育士 橋恵さん、「廿日市市立学校における特別支援教育について」講師:学校教育課 指導主事(グループリーダー) 末岡信子さん、「ビジョントレーニングについて」講師:PIECE 四季が丘 管理者 齊藤千晶さん)を行うとともに、広島西こども発達支援センターくれよん、児童発達支援センターおひさまの施設見学もさせていただきました。乳幼児健診を中心にポジティブライフガイドの配布も継続しています。



部会の様子

障がい児支援関係事業所連絡会

「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。内容は毎年改訂し、最新版を配布しています。



地域生活支援部会 長期入院解消プロジェクト

【目的など】

精神科病院に長期入院されている人が、地域生活を送ることができるような仕組みづくりについて検討を行ったり、すでに地域で生活を送っている人たちが、より良い生活が送れるよう、社会資源の開拓などをしていくことを目的としています。

【構成団体】

- ①友和病院②エスペランサ③相談支援事業所エスペランサ
- ④さくら相談支援事業所⑤さくら作業所⑥広島県西部保健所
- ⑦市障害福祉課

【これまでの主な取組】

- ・研修
「“地域で暮らしたい”をサポートするために」(平成 22 年度)
「病院の退院についての取り組みを学ぶ」(平成 25 年度)
- ・市が実施した長期入院されている人へのアンケートに協力(平成 26 年度)
- ・院内茶話会の実施(平成 27 年度～)

【平成 29 年度 取組計画】

- ①長期入院をされている人への情報提供の方法の検討
- ②病院内での茶話会の実施
- ③地域での交流の場の検討

【平成 29 年度 取組報告】

長期入院の解消や地域移行に関する会議を開催しました。

長期入院が解消されない要因として、“家族の反対”、“経済的負担”、“居住の確保”等の意見があがりました。

また、病院に対して地域の社会資源を知ってもらう取り組みや、グループホームを活用した地域移行、ピアサポーターの活用、事例検討会なども必要ではないかといった意見もありました。

地域移行に関しては、精神科病院だけの課題ではなく施設入所を含めて取り組んでいく必要があるのではないかと声もありました。



院内茶話会
グループワークの様子

地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的にしています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題（居場所づくり等）解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【構成団体】

①さくら相談支援事業所②あうるホーム③はつかいち福祉ねっと有志④市社会福祉協議会

【平成29年度 取組計画】

- ①ななうら丸 de クルージング
- ②「みんなの防犯教室&広島県警察音楽隊演奏」
- ③カローリング交流会

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会（平成25年度）
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修（平成25年度）
- ・障がい者スポーツ体験会（平成26年度～）
- ・カローリング交流会（平成26年度～）
- ・クルージング（協力：JR西日本フェリー）企画（平成27年度～※平成25～26年度は事務局）
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」（平成28年度）

放課後長期休暇ワーキング（平成20～24年度）

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査（平成20、21年度）
- ・長期休暇オープンスペース（平成22～24年度）
- ・おりづる講習会（支援者対象）（平成23年度）
- ・関係事業所情報交換会（平成20～24年度）

【平成29年度 取組報告】

今年で5回目となるクルージング（協力：JR西日本宮島フェリー）企画では、就航したばかりの“ななうら丸”で昨年と同様、呉に行きました。船内では福祉ねっと有志等による島ガイドを聞きながらゆったり過ごすことができました。呉では食事や散策を楽しみ、総勢180人のクルージングは、大成功でした。

昨年度はじめて企画して好評いただいた「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」につづき、さくらびあ大ホールにて「みんなの防犯教室&広島県警察音楽隊コンサート」（1月13日（土））を開催し、約300の方にご来場いただきました。防犯教室では、クイズ、寸劇等で、防犯について楽しく学ぶ機会になりました。音楽隊演奏は思わず身体を動かしたくなるような、見て聴いて楽しいコンサートでした。

「第4回カローリング交流会（2月10日（土））」は、今年度もサンチェリーメインアリーナを会場に開催しました。当日は、24チーム約80人の選手のみなさんが熱のこもったゲームを展開し、どのレーンでも最後には勝ち負けに関係なく、お互いをたたえ合う清々しい光景が広がっていました。

共同開催していただいた“きょうだい支援の会 SIBLINGS”さん、運営にご協力いただいたスポーツ推進委員のみなさん、ボランティアのみなさん、そして、協賛いただいた（株）やまだ屋さん、サントリー（株）さんには心よりの感謝を申し上げたいと思います。



カローリング交流会

ななうら丸 de クルージング

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」との声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成 22 年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成 23 年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成 26 年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないことー」(平成 27 年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成 28 年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成 24、25 年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成 27 年度)
- ・介護技術向上研修(平成 28 年度)
- ・救命講習(平成 24、25、27、28 年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成 24 年度～平成 27 年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成 25 年度～平成 27 年度)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成 26 年度)

【構成団体】

①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第 2 清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチイケアセンター廿日市⑤サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑥ヘルパーステーションケーアイ⑦コアラ訪問介護事業所⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭ヘルパーステーションあすか⑮エコール在宅介護ステーション廿日市⑯アイネットホームサービス⑰訪問介護事業所なな

【平成 29 年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習
 - ・介護技術研修
 - ・講演会
 - ・制度学習会
- 就職合同面接会

【平成 29 年度 取組報告】

今年度も救命救急講習を開催し、廿日市消防署の方から心肺蘇生や AED 使用方法、異物除去法など業務中のいざという時あわてず活用できるような救命方法を中心に指導を受けました。

広島県地域医療介護総合確保事業を活用した「介護技術向上研修」(講師：NPO 法人リハケアリングネットワーク)も開催しました。今回はこれからヘルパーに期待されることについて講演いただき、介護技術やヘルパーの心得等の理解を深めることができました。

障害福祉課担当職員を講師に、制度説明会も開催しました。日頃の業務で感じる疑問や課題について、みんなで質問や意見を出し合いひとつずつ整理をしていきました。今後も、疑問に思うことはお互いに確認し合い、共通の認識のもと業務にあたりたいと思います。



介護技術向上研修



救急救命講習

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

当事者や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っていきます。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・ 防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・ 研修
「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～（平成 23 年度）
- ・ 障がい別会議合同避難訓練（あいプラザ）（平成 27 年度～）

【構成団体】

- ①身体障がい部会
- ②知的障がい部会
- ③精神障がい部会
- ④こども部会
- ⑤市社会福祉協議会
- ⑥市障害福祉課

【平成 29 年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練（あいプラザ）
- ②はつかいち福祉ねっとでの今後の防災に関する取組の検討

【平成 29 年度 取組報告】

9月7日（木）のあいプラザ消防訓練に、障がい別会議のみなさんで参加をしました。あいにくの雨で、スロープを使つての避難や、避難はしごの体験は中止となりましたが、水消火器、消火栓放水をみなさんで体験しました。日ごろからよく利用するあいプラザでこのような体験がみなさんと一緒にできた事はとてもよかったです。

福祉ねっとでの今後の防災に関する取組については、避難行動要支援者避難支援制度の進捗状況の確認等を行いながら、来年度も引き続き検討していきます。



あいプラザ消防訓練の様子

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【これまでの主な取り組み】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成 28 年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成 28 年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成 28 年度)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会
- ②視覚障害者の会「椿会」
- ③佐伯地区ろうあ協会廿日市支部
- ④日本頸髄損傷 Life Net
- ⑤障害者施設・原家族会
- ⑥高次脳機能障害サポートネットひろしま「シェイキングハンズ」
- ⑦廿日市市地区会
- ⑧スイミー
- ⑨みんなのつながりを豊かにしたい会
- ⑩広島ひかり園
- ⑪友和の里
- ⑫くさのみ作業所
- ⑬さくら作業所
- ⑭友和病院
- ⑮エスペランサ
- ⑯特定相談支援事業所広島ひかり園
- ⑰相談支援事業所いっぽ
- ⑱相談支援事業所エスペランサ
- ⑲相談支援事業所あおぞら
- ⑳もみじケア訪問介護事業所
- ㉑あうる訪問介護サービスセンター

【平成 29 年度 取り組み計画】

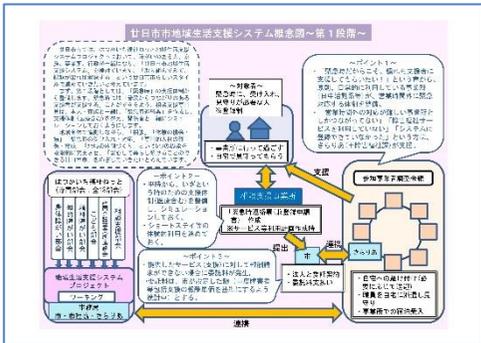
- ①地域生活支援システムの検討(ワーキング開催)
- ②事業者説明会、調整会議の開催
- ③他市町の取り組み調査

【平成 29 年度 取り組み報告】

本プロジェクトでは、地域生活支援システムに係る詳細を検討するため、プロジェクト(22人)から選出したメンバーによるワーキング(8人)を起ち上げ、プロジェクトとワーキングを連動させながら、市地域生活支援システムの仕組み等を検討しました。

また、「事業者説明会(7月10日、1月16日)」を開催し、本システムへの参加事業者を募り、手を挙げてくれた事業者のみなさんによる「参加事業者調整会議」を組織し、実際のシステム運用等について協議検討を重ねました(7月31日、9月12日、2月19日)。

その他、プロジェクトメンバーや事務局職員から他市町へ取組状況の照会をかけたり、参加した各種研修会の情報を共有するなどして、他市町の取組状況や最新の情勢等について情報共有に努めました。



概念図



参加事業者調整会議の様子



プロジェクトの様子

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・事業所紹介(平成24年度～)
- ・Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧コアラ相談支援事業所⑨相談支援事業所いっぽ⑩相談支援事業所あおぞら⑪特定相談支援事業所友和の里⑫相談支援事業所エスプランサ⑬一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑭アマンリハビリテーション病院⑮生協ひろしま介護サービス・廿日市⑯多機能事業所ぱすてる⑰スプリングコート⑱ウィルサポキッズ廿日市 SSTs⑲放課後等デイサービスKANAL廿日市

【平成29年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取り組み
 - 各種情報共有
 - 「学習コーナー(定例部会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - 「グループワーク(定例部会内)」による、事業所間の情報共有
 - 「事例報告(定例部会内)」
 - 事業所見学ツアー&事業所情報リスト作成
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取り組み
 - 部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー
- ③サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員合同研修会開催

【平成29年度 取組報告】

毎月定例会を開催し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携をはかっています。今年度は、制度等の学習やグループワークに加え、新たに「事例報告」の時間を設け、互いの実践を共有しあいました。また、平成30年度「地域生活支援拠点システム」スタートに向け、相談支援専門員に求められる役割等についてみんなで意見交換をしたり、システムで利用する「緊急時連絡票」「フェイスシート」様式の作成にも取り組みました。

この緊急時連絡票

親族・家族		事業所	
名前(フリガナ)	電話番号	事業所名(フリガナ)	担当者
氏名			
性別			
住所			
氏名			
性別			
住所			



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

権利擁護

- ・研修「みんなで学ぼう!! 権利擁護の基礎について」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 21 年度)
- ・研修「権利擁護について～当事者の方から～」(講師: 大元誠司さん、平山圭紀さん)(平成 26 年度)

成年後見制度

- ・研修「みんなで学ぼう!! 成年後見制度のイロハ」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 23 年度・子ども部会共催)
- ・研修「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 24 年度・精神障がい部会共催)
- ・研修「成年後見制度講演会」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 25 年度)
- ・研修「成年後見制度・福祉サービス利用援助事業かけはしについて」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 26 年度)

虐待防止

- ・研修「障害者虐待防止ーおこさないために&起こってしまったらー私たちにできること」(講師: 田中清美さん)(平成 24 年度)
- ・研修「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」(講師: 森木聡人さん)(平成 25 年度)
- ・「障害のある人の権利擁護と虐待対応について」(講師: 中島康晴さん)(平成 28 年度)

障害者差別解消法

- ・研修「障害者差別解消法がめざすもの」(講師: 横藤田誠さん)(平成 27 年度)
- ・研修「障害者差別解消法ってなに?～法律の概要と活用のポイント～」(講師: 又村あおいさん)(平成 28 年度)

その他

- ・部会内部研修「事例検討におけるスーパービジョン」(講師: 木村雅昭さん)(平成 22 年度)
- ・研修「自己評価について」(講師: 井上予志栄さん)(平成 23 年度)
- ・研修「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(講師: 松原智治さん、山下千絵さん)(平成 25 年度・児童部会共催)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成 26 年度)

【構成団体】

- ①さくら作業所
- ②エスペランサ
- ③広島西医療センター
- ④サンキ・ウエルビー介護センター
- ⑤廿日市市
- ⑥くさのみ作業所
- ⑦市社会福祉協議会

【平成 29 年度 取組計画】

研修会

- ①当事者の声を聞く
- ②障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)研修

【平成 29 年度 取組報告】

権利擁護の理解を目的に、当事者である広瀬未姫さんを講師にお招きし、研修会「私らしく自己決定」を開催しました。また、一昨年に続き、横藤田誠さん(広島大学大学院社会科学研究所教授)には、「障害者差別解消法は何をめざし、何を得たのか?」と題し、障害者差別解消法についてご講演いただく予定です。

新たに今年度から、はつかいち福祉ねっとの代表として、当ワーキング代表が「廿日市市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議」と「廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会」に参加をさせていただくことになりました。



研修の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために障害者週間に啓発活動を行います。

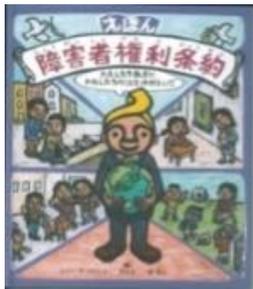


手話体験教室・ロービジョン体験



事業所製品販売

3階フロアスペース



障害者権利条約の絵本



事業所紹介、製品、作品展

2階市民ホール



ヘルプマーク

【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会 ④全国障害者問題研究会廿日市サークル⑤廿日市市障害者福祉協会⑥広島ひかり園⑦コーヒーショップあんず⑧大野ふれあい生活介護事業所⑨くさのみ作業所⑩市障害福祉課

【平成29年度 取組計画】

① “障害者週間”での取り組み、啓発活動。
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【平成29年度 取組報告】

12月9日(土)にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。3階の紀伊国屋書店前では事業所の製品販売、手話の体験教室、ロービジョン体験を行い、2階の市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品の展示、ヘルプマークの紹介、障害者権利条約の絵本のスライド上映、バルーンアート、喫茶コーナーを行いました。

(株)藤い屋さんとカルビー(株)さんからの協賛品をいただき、手話、ロービジョン体験をされた方や市民ホールに来られた方には、お渡ししました。

障がい別会議、福祉就労ワーキング、ボランティアのみなさんなど、多くの方の協力で無事終わることができました。

学習・啓発部会 “発達障害啓発週間”ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。

【構成団体】

調整中

【平成29年度 取組計画】

① “発達障害啓発週間” (世界自閉症啓発デー) でのブルーライト企画

【平成29年度 取組報告】

4月2日(月)の世界自閉症デー、4月2日(月)～8日(日)の“発達障害啓発週間”に合わせて、初の啓発イベントを行いました。広く市民の方に「自閉症」をはじめとする「発達障がい」について理解していただくことを目的とし、新宮中央公園(けん玉公園)でのブルーライトアップ(※)、啓発チラシの配布、資料展示を行い、色々な方に関心を持っていただくための機会になりました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。

はつかいち市民図書館では、3月23日(金)から4月25日(水)まで、「知ることからはじめよう自閉症」と題して、書籍展示をされました。期間中、120冊ほどの展示に対して、220貸出があったそうです。発達障がいに対する関心の高まりに驚きました。



あいプラザでの掲示



資料展示



ブルーライトアップ(桜の木)



青色のTシャツを着てチラシ配布を行いました。(世界自閉症デーのロゴ入り)



啓発チラシ配布